

R I 第 2820 地区

# 水海道ロータリークラブ



CELEBRATE  
ROTARY

100 Years

2004-05 年度 国際ロータリー会長  
グレン E. エステス・シニア

NO. 2 0 3 6

例会 2005 年 5 月 25 日(水)

## 本日のプログラム

点 鐘  
ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA 報告  
諸 報 告  
幹事報告  
会長挨拶

### 外部卓話

茨城県議会議員 長谷川典子様

次回 6 月 1 日(水) 予告

事業実績報告

各委員会委員長

鈴木・大串年度テーマ

『原点に戻ろう！』

そしてさらなる飛躍を！！』

5 月の会長ポイントメッセージ

有終の美を飾り、ロータリーを祝おう！！



水海道青年会議所 倉持達也理事長

2004 ~ 2005 年度

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30

0297-22-1251

会 長 鈴 木

豊

幹 事 大 串

卓

事 務 所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

\* 会長挨拶

\* 外部卓話

(社)水海道青年会議所 倉持達也理事長

ピジター

(社)水海道青年会議所

理事長 倉持達也様

専務理事 淀名和茂彦様

総務広報委員会委員長 斉藤保弘様



諸報告

次年度より (熊谷 昇次年度幹事)

第一回理事役員会 18:00より

新旧委員長会議 18:30より 於:一久苑

バスを用意してあります。 18:10(出発)白井石油さん前より

幹事報告 (大串 卓幹事)

週報受理 牛久RC、竜ヶ崎RC、石岡87RC

例会変更通知受理 牛久RC 6月5日(日) 午前11時より 牛久シャトー内キャノン 20周年記念式典  
6月13日(月)午後7時より 甲子亭

石岡 87RC 6月4日(土)午後6時より 水戸京成ホテル

竜ヶ崎RC 5月24日(火)午後6時30分より き仙

会長挨拶 (鈴木 豊会長)

こんにちは。ようこそロータリークラブにお越し頂きました、水海道青年会議所理事長の倉持様、専務理事の淀名和様、総務広報委員会委員長の斉藤様、会員一同ご歓迎申し上げます。私もJC出身者であり、多くの会員がJC出身でもあります。このような機会を持てることは、大いに嬉しい限りであり、卒業されたならば是非RCの方へ入会を宜しく申し上げます。

5月15日、つくばサンライズのチャーターナイトに、青木副会長、大串幹事が出席されました。

5月11日に行われました理事会の決定事項を報告させていただきます。

例会について・・・5月は通常例会、6月8日(水)休会、6月29日(水)さよならパーティー(粧屋さん)

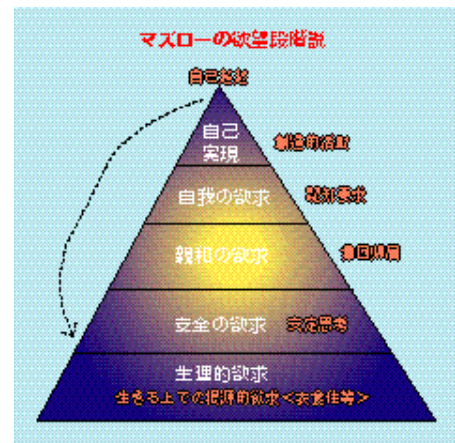
チャリティーゴルフ協賛の件・・・例年通り

退会の件・・・渡辺 佑会員 5月末日付

以上、承認されました。

さて、スピーチは短いほど喜ばれる風潮がありますが、残された数少ないチャンスでもあり、会長のスピーチをどうしても聞きたいと言う人もいますので、あえてスピーチを進めます。

私達ロータリー活動は、世界最大の奉仕団体であるといわれます。一口に奉仕といっても色々な精神的段階があります。皆様ご承知と思いますが、マズローの欲求5段階説というのが良く取り上げられます。人間の欲求は、5段階のピラミッドのようになっていて、底辺から始まって1段階目の欲求が満たされると、1段階上の欲求



を志すというものです。その内容は、1.生理的欲求 2.安全の欲求 3.親和の欲求 4.自我の欲求 5.自己実現の欲求です。1・2は、人間が生きていくうえでの根源的な欲求で、食欲、性欲、物欲、金銭欲です。3の親和の欲求は、親睦の欲求、4の自我の欲求とは、自分が集団から価値ある存在と認められ尊敬されることを求める欲求、そして5の自己実現の欲求とは、自分の能力、可能性を発揮し、創造的活動や自己の成長を迫る欲求です。ロータリアンとして、1・2の欲を早く卒業し、3の親睦の欲求として、奉仕するという5の最高の欲求を目指さなければならないと思います。優秀な人ほど段階を駆け上がるのは早いですが、数多くの方が階段を踏み外し、これまでその人にとって当たり前だと思っていたことが、当たり前でなくなるような状況に陥っています。ようするに、自分自身にいつも問いかけているのですが、「足るを知る」生理的欲求は程々にその知足の心がもたらす感謝と謙虚さをベースにした、他人を思いやる利他の心。しかし、難しいことです。

## 外部卓話

(水海道青年会議所 倉持達也理事長)

### 2005年度 理事長スローガン

目的を持って行動しよう！

いかなる時も前向きに！

チャレンジこそが達成感への第一歩！

### 2005年度 理事長所信

社団法人水海道青年会議所も、1981年に

誕生してから今年で25年目を迎えることが出来ました。これからも今まで同様、諸先輩方々の築かれた伝統や実績を基に、青年らしく前向きに活動していきたいと考えております。

経済状況も低迷している中で、不景気も底がついたと言われながら数年の時が経ちました。昨年ぐらいから少しずつ景気回復というような声もちらほら聞こえてきてはおりますが、私たちが住むこの地域におきましてはまだまだ肌で感じることは出来ません。ビジネスに例えれば、不景気を理由に前向きにチャレンジ出来ずにいる企業がほとんどかと思われまます。こんな時にこそ必要なのが地域に密着した真の青年会議所活動ではないでしょうか。せめて心だけでも豊かに地域のことを考え、そこに住む次世代の子どもたちのことを考え、自分たちだけではなく地域の皆さんが前向きになれるようなそんなまちづくりを目指して行動しなければなりません。何が成功だとか何が失敗だとかにはこだわらず、地域の皆さんも満足し、達成感を味わえるような事業展開をしていけたらと思っております。また、水海道青年会議所のメンバーが地域のリーダーとなり「まちづくりはひとづくりから」の信念を基に、これからのまちづくりを「率先して考えられるひと」をつくる事が出来れば、本当のひとづくり活動となることでしょう。そのような地域を愛する人たちが一人でも多く仲間となれることにより、青年会議所で掲げられている「明るい豊かなまちづくり」が達成されることだと考えております。

広域合併の体制もまとまりつつあり、まもなく「新しい地域」としてスタートしようとしています。今までは隣り合わせであってもお互いに独立した地域でした。しかし、これからは一体化された中でどのように進化するべきかを問われる時かと思われまます。そんな夢のある現実に対して私たち青年会議所は具体的に今何をすべきでしょうか。これから仲間となる地域同士の綿密なる情報交換の推進に努めることこそが、私たちの出来る最大であり最小の広域合併への参画になることと思われまます。広域合併という大事業により、そこに住む人たちがみんなが納得し満足するために、行政に対して少しでも力になれるよう協力し、提案した上で、私たちの住む地域がより良いものになるよう努力して行きましよう。更には、合併の枠組みを超えた同一生活圏内の近隣市町村との融和が更なる課題になることと考えております。



最後になりますが、社団法人水海道青年会議所第25代理事長という責務を重く捉え、会員の皆様の能力を十分に引き出せるよう心と心の組織作りに取り組んでいきたいと思っております。

25周年という節目の年を期に更なる発展と広域的な地域の活性化を目指し、「ひとづくり」「まちづくり」の両方に正面から前向きに活動してまいりますので、会員ならびに諸先輩をはじめとする関係各位の皆様におかれましては、何とぞ深いご理解と絶大なご協力を心よりお願い申し上げます。

## 事業活動報告

### 1月例会

本年度における事業活動の成功を一言主神社にてご祈禱していただき、新しいメンバーを含めた会員相互の信頼関係を深め、親睦を図りました。

### 1月通常総会

2004年度事業報告及び収支決算報告承認審議並びに監査報告

2005年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認審議

### 2月例会

『マインド・マッピング』～自分の能力に気づいていますか～

右脳と左脳の使い方の基本を学び、右脳を刺激するトレーニングを繰り返し行うことにより、イメージで考えることを学び、創造性が増し記憶力が改善され、そして脳が活性されることにより、新たな情報を素早く吸収できるようになることに繋がります。このような自分の中に潜在している能力を再開発することで、意見をまとめる力や人と話せる力が身につく自信を持って人に接することができ、リーダーシップを発揮することができるようになり、今後の青年会議所活動や地域活動、会社でも率先して活動できることを目的とした例会でした。

### 3月例会

今回の例会では、『フライングカーコーポレーションを探せ』というプログラムを通し、グループで活動する時に必要な諸要素(コミュニケーション・チームワーク・役割分担等)を体験し理解すると共に、お互いのメンバー同士が、更に深い交流へとつながる場とする事が出来ます。

二つのLOMでの合同例会とする事により、単体でも出来る事業での達成感を、新たな刺激を受けることで何倍にも感じられる事となり、やがてそれらは、将来的には広域的なまちづくり活動へと生かされて行く事を目的とした例会でした。

### 4月例会

『即 実践！ 明日に生きる経営学』

水海道青年会議所活動エリアに所在するJC会員と同じ悩みや課題を持つであろう企業、若手経営者に広く呼びかけ、問題解決の一助となるような講演会を開催し、JC活動の一端にも触れてもらい、青年会議所への理解を深めていただき、青年会議所活動がビジネスチャンスに結びつく可能性を秘めている事をご理解いただき今後の会員拡大活動につなげることを目的とした例会でした。

## 淀名和茂彦専務理事あいさつ

専務理事の職務の話をさせていただきます。理事長の代理と側近と心得ております。口ムの全てをつかさどる扇の要に値すると考えております。青年会議所の事業に対しましては、ベクトルの差、本質を見極めて運営していくのが勤めであろうと考えます。純金を知っているからこそ





金メッキの美しさがわかる青年会議所であると同時に、湖畔に映る金閣寺が金閣寺であるというように・・・専務職として頑張っていきたいと思えます。

### 斉藤保弘総務広報委員会委員長のあいさつ



自己紹介を持ちましてあいさつとさせていただきます。2000年に入会しました。総務広報委員会の活動は、HPの管理やJCルームの維持管理、表舞台に立つことはなかなかありませんが、唯一表舞台に立つのは、例会の司会、総会の司会をさせていただいております。職業は、谷和原村で建設業を営んでおります。これからもRCの皆さんには色々とお世話になると思えます。宜しく願い致します。

### 出席報告 (角田雅宣委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク
50名	31名	19名	1名	14名

出席率 92.00%

### ニコニコボックス (青木正弘SAA)

皆様、お元気ですか？今日、水海道青年会議所会員様の卓話です。先輩として宜しくお願いします。

鈴木(豊)会員

気持ち良い季節になりました。 大串会員

私共、水海道厚生病院理事の元院長先生が、この度の春の叙勲で瑞宝小綬章を授章いたしました。病院として大変光栄と思っております。 松坂会員

JCの後輩が卓話します。宜しくお願いします。 登坂会員

JC倉持理事長をよろしく。また、北村英明会員の卓話、歌と感動しました。 染谷(秀)会員

水海道JCの皆さん、よろしく！！ 染谷(正)会員

先週の卓話と歌を、染谷(秀)会員に褒められました。また、隅屋会員にも褒められました。

北村(英)会員

先週、褒められました。また、本日欠席します。 武藤会員

鈴木会長、体調不良のため、代理としてつくばサンライズの認証状伝達式に出席しました。

青木(清)会員

隅屋会員に褒められました。 中川会員

例会欠席しました。 福田会員

先週欠席しました。早退します。 松崎会員

その他 横山会員

ご協力有難うございます。 青木(正)会員

入金計 ￥25,000 累計 ￥2,065,000

会報委員会 委員長 斎藤広巳 副委員長 大塚令昌

# N e w s   R o o m

## 財団管理委員会、人道的補助金プログラムを変更

(2005年5月6日)

ロータリー財団管理委員が2005年4月の会議でマッチング グラント計画の一部を変更し、個人向け補助金を凍結しました。

2005年7月1日よりマッチング グラントの最低額を米貨5,000弗に増加します。この変更は、地元により大きなインパクトを与える為の継続可能なプロジェクトに重点を指向するのを目的としております。然し、2005年3月31日以前に提出された申請書で若しも2005年10月31日迄に完結するものであれば、従前の規則に従って資金が出されます。

2006年7月1日から、プロジェクト施行国内の等額供与ホスト パートナーは最小限100弗の寄付をする事が必要になります。管理委員はこの決定で、地元の財政的寄付を含むプロジェクトで、地元の更に大きい投資と監視を得られると、考えております。

更に、2006年7月1日よりマッチング グラント申請書には、プロジェクト開始を監督する為に、プロジェクト委員会に少なくとも3名のロータリアンが入っている事を必要とします。

次に、管理委員会は2005年7月1日で、個人向け補助金交付の凍結を決定しました。然し、2004年05年計画年度中に提出された申請書で2005年10月31日迄に完了するものであれば、補助金が出されます。

会議では他に補助金と報告に関する事項が決定されました。

- 2005年7月1日より、補助金の継続期間中は12ヶ月毎に経過報告書の提出が要求され、最終報告はプロジェクト完成2ヶ月内に提出。2005年7月1日後に認可された全ての補助金は、この新しい報告義務の対象になる。2006年12月31日以降は、認可時期に関係なく全ての補助金は、これらの新報告義務の対象になる。
- 2006年7月1日を以って、補助金申請書を財団へ提出前に、地区補助金小委員会が申請書を検討しなければならない。
- 2006年7月1日を以って、スポンサーは補助金申請書の認可の為に全条項に合致するのに6ヶ月あり、補助金が認可されてから全条件に合わせるのに6ヶ月がある。若しもこれらの締切日が守られない場合は、申請書は取り下げられて、取り消される。

上記に関し、更に詳細を御希望の方は財団に御連絡下さい。

(出所: RI Newsroom)

2005-5-8

(文責 RJW 委員会)

(翻訳 : RJW 翻訳委員 松岡信雄 東京RC)